

第29期

パワフルAOMORI！創造塾

パワフルAOMORI！創造塾とは、青森県総合社会教育センターが平成元年に開所して以来29年間に渡り、「次代の青森県を担う人財を育成する」ことを一貫した趣旨として継続してきた事業です。

本講座は昨年度から合宿型の講座としてリニューアルし、今年度は内容をより深化させ、実践力の強化を図った講座として実施しています。第29期パワフルAOMORI！創造塾、1年間の「軌跡」を御紹介します。

第1回講座（7月29日（土）～30日（日）） 「オモイ」を広げる

(1) 講義・演習「映像制作ワークショップをとおした地域づくり」

講師 林 弘樹 氏（ものがたり法人FireWorks 映画監督）

自ら地域に溶け込み、地域住民と一丸になって映画を撮り続ける林監督からは、演技・撮影・照明実習、脚本づくり、撮影フィールドワーク、編集講座等、映像制作をとおした地域づくりについて御教示いただき、塾生はグループ毎に



地域づくりをテーマとした3分の短編映画制作を行いました。

監督から幾度と語られた映画づくりの三原則「話し合う、力を合わせる、あきらめない」は地域づくり活動にも通じ、塾生一人一人が今後地域づくりへの「オモイ」を「カタチ」にしていく上で大きな指針となるものでした。



第2回講座（8月19日（土）～20日（日）） 「オモイ」をみかく

(1) 特別講演「あおもりの未来をつくる人づくり～未来を変える挑戦～」

講師 三村 申吾 氏（青森県知事）

第1期から行われてきた知事による特別講演が今期も行われました。三村知事からは、県が進める施策や人財育成の方向性に関する講演の他、3C（チャ



ンス、チャレンジ、チェンジ）をキーワードに、「地域へのオモイをパワーにすることができるのがパワフルAOMORI！創造塾である！」と、塾生に向けて熱いメッセージが送られました。



(2) 講義・演習「地域づくりの現場のまっただ中で」



講師 山田 崇 氏（塩尻市企画政策部地方創生推進課）

岡 詩子 氏（つるた街プロジェクト）

長野県塩尻市で公務員として勤務する傍ら、地元商店街の活性化に向けて実際に空き家を借りて住み、様々なイベントを展開している「スーパー公務員」山田さんからは、「何のために活動するのか、誰を活動に呼びたいのか、その最初の一人は誰なのか」など、活動の根本について御教示いただきました。

また、鶴田町にとことんまでこだわったフリーペーパー「つMAP」の発行や富士見湖パーク・鶴の舞橋にて「星空のキャンドルナイトin鶴田」の企画・運営を行う岡さんからは、まちづくりに関わる

ことになったきっかけや取組の実際についてお話をいただきました。

「大きなプラン（夢）を持ちながらも活動は小さく始める」、「ともに行動する仲間を増やす」、「多くの人の話をしっかりと傾聴し、咀嚼（そしゃく）した上で行動に移す」などのポイントは、塾生一人一人が地域づくり活動へ動き出す上で、最初の一歩を踏み出すための勇気と活力を与えました。



第3回講座（10月28日（土）～29日（日）） 「オモイ」を「カタチ」に！

（1）講義・演習「オモイ」を「カタチ」にする情熱と行動

講師 高橋 由和 氏（特定非営利活動法人きらりよしじまネットワーク事務局長）



地域全世帯加入のNPO法人を立ち上げ、地域課題解決に真正面から取り組む高橋さんからは、合意形成を進めていくポイント、地域の人材育成の仕組、「オモイ」を「カタチ」にするための実践的なグループワークなど、塾生の状況を踏まえ、塾生の目線に立って御指導いただきました。データを示し地域存続の危機感を関係者全員で共有すること、「何をやるか」ではなく「なぜやるのか」を活動の根底に据えることなどの内容は、塾生が地域づくりへの「オモイ」を見つめ直す契機となり、「カタチ」にしていく上で多くの示唆を与えるものとなりました。

第4回講座（11月25日（土）） わたしのアクションプラン大自慢大会

講座の締めくくりとして、塾生が今後のプランについての発表を行い、一人一人の「オモイ」を表現しました。ほどよい緊張感の中、塾生相互に「こうしたら、もっと良くなるよ。」「一緒にやろう。私も手伝うよ。」などの熱い意見交換を行い、本講座を終了しました。

当塾は、地域づくりに取り組む仲間のネットワークを強化し、卒業後も自主的に活動を継続していくことを目的の一つとしています。すでに県内各地において、塾生同士の協力により様々なイベントを開催しています。これからも当塾は、楽しみながら地域づくりを行っていく人財をパワフルに育成していきます。



塾生の声（第29期同期会会長 山端 祥 氏）

パワフルAOMORI！創造塾に参加してまず言えることは、「人として成長した」ということです。そして、改めて「人」の大切さに気付くことができました。

様々な業種や年代の方と交流できること、豪華な講師陣に学ぶことができることを魅力に感じ、参加を決意しました。このような講座に参加するのは初めてのため、しっかりと何かを得られて持ち帰ることができるか疑心暗鬼でしたが、そんな心配は第1回講座で29期生のメンバーと出会ったことで吹き飛びました。回を重ねるご

とに塾生間の結束は強まり、かけがえのない仲間と呼べる存在になりました。故郷や地域に対する「オモイ」を声に出して熱く本気で語らうことができました。これは必ず、自分の人生の中で貴重な体験、出会いであったと言えます。

今後、自分自身はもちろん、29期生一人一人が地域のことを自分事（じぶんごと）として捉え、地域の中心で活躍する存在となるよう自己研鑽に努めていくことを約束します。

